SONY

4-297-824-**01**(1)

ヘッドマウント
ディスプレイ

リファレンスガイド

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故防止と健康のための重要な注意事項および、製品の取り扱いかたを示しています。**この説明書と別冊の「スタートガイド」をよくお読みのうえ、製品を正しくお使いください。**お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本機を初めてご使用になるときは

別冊の「スタートガイド」をご覧になり、
本機の接続と装着、初期設定を行ってください。

HMZ-T1

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

3 ～ 5ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。
6ページの「健康に関するご注意」および7ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

➡

❶電源を切る
❷電源プラグをコンセントから抜く
❸お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



警告 火災 感電 安全のために

この表示の注意事項を守らないと、**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**など人身事故の原因になります。

落としたり強い衝撃を与えない
高温になる場所や直射日光の当たる場所には置かない

変形し画面にずれが生じることがあります。画面がずれたままの状態で使用を続けると、眼精疲労を招くおそれがあります。「スタートガイド」の「チェック方法について」にしたがってチェックした際、画面にずれが確認された場合は、ソニーサービス窓口まで修理をご依頼ください。

禁止

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所には置かない

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

禁止

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

本機は国内専用です

交流100 Vの電源でお使いください。
海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。

指示

内部に水や異物を入れないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、**感電**やその他の事故により**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

禁止

かゆみなど違和感があったら使わない

使用中、肌に合わないと感じたときは使用を中止して医師またはお買い上げ店、ソニーサービス相談窓口にご相談ください。

禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となります。

ぬれ手禁止

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物(じゅうたんや毛布など)の上に放置しない。
- 布などでくるまない。
- キャリングケース等に入れた状態で使用しない。

禁止

通電中のプロセッサーユニット部に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

健康に関するご注意

ご使用になる方の年齢について
本機での映像の視聴は成長過程のお子さまの健康に影響を与えるおそれがあります。
15歳以下のお子さまには本機の使用を控えさせてください。また、お子さまの使用を防ぐためには、本機のパスワード設定機能をお使いください（25ページ）。

本機での映像の視聴について

- 映像の視聴中やゲームのプレイ中に目の疲労、疲れ、気分が悪くなる・乗り物酔いに似た症状が出るなどの不快な症状が出ることがあります。映像を視聴したり、ゲームをプレイするときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで視聴やゲームのプレイをやめ、必要に応じて医師にご相談ください。
- 不快な症状が出やすくなる可能性がありますので、ゆれの激しい環境での使用や、歩いたり運動しながらの使用はしないでください。
- 本機に接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。最新情報については、ホームページ（http://www.sony.co.jp/support/）をご覧ください。

本機の使い方について

- 正しい装着状態で使用してください。
  - 装着方法については、「スタートガイド」をご覧ください。
  - 左右の画面位置ずれがないことを、「正常表示チェック画面」で確認してから使用してください。
  - 落としたりすると左右の画面位置がずれる場合があります。
- 本機の瞳孔間距離（眼幅）適合範囲は55 mm – 72 mmです。この範囲に収まらない方は、本機をお使いいただけません。
- お買い上げ時の設定では、連続使用が3時間で電源が自動的に切れる警告画面が表示され、これをキャンセルして使用し続けた場合でも、さらに3時間経過すると自動的に電源が切れます。

本機を快適にご視聴いただくために
本機は、映像を遠くに投影するように設計されています。
日常生活で眼鏡やコンタクトレンズを使用されている方は、それらを使用したままご視聴ください（手元を見る老眼鏡などは除きます）。
なお、遠近両用の眼鏡やコンタクトレンズでは、快適にご視聴いただけない場合があります。

使用上のご注意

電源について

本機は、コンセントの近くでお使いください。異常な音やにおい、煙が出たときはすぐに電源コードのプラグをコンセントから抜いて電源を切り、電源を遮断してください。ヘッドマウントユニットの電源ボタンを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- 振動の多い所。
- 直射日光が当る所、湿度や温度が高い所。
- 極端に寒い所。

また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

結露(露つき)について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
  電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
  電源を入れないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
  電源を入れたまま放置してください。

結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

レンズについて

- 汚れや傷がつかないよう注意してご使用ください。万一、汚れた場合は、レンズ専用のやわらかい布で軽く拭いてください。
- レンズクリーニング液やアルコール、水などの液体は使用しないでください。

本体のお手入れのしかた

本機のキャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませたやわらかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使用しないでください。

再生を開始するときは

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

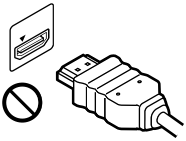
梱包材の保管について

修理や引越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材をご使用ください。

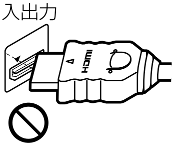
HDMI端子につなぐときのご注意

次のような場合、HDMI端子やコネクターを破損させるおそれがありますのでご注意ください。

- ケーブルを差し込むときは、プロセッサーユニット後面のHDMI端子とコネクターの形や向きに注意してください。

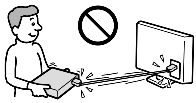


コネクターが逆さになっている



曲がっている

- プロセッサーユニットを移動させるときは、必ずHDMIケーブルを抜いてください。



- HDMIケーブルを抜き差しするときは、コネクターをまっすぐ持ってください。コネクターをねじ曲げたり、HDMI端子に強く押し込んだりしないでください。
- HDMIケーブルは、付属のケーブルまたは"HIGH SPEED"タイプのケーブルをご利用ください。

ヘッドマウントユニットの接続ケーブルをつなぐときのご注意

次のような場合、HMD OUT端子やコネクターを破損させるおそれがありますのでご注意ください。

- 接続ケーブルをつなぐときは、プロセッサーユニット前面のHMD OUT端子とコネクターの形や向きに注意してください。
- プロセッサーユニットを移動させるときは、必ず接続ケーブルを抜いてください。
- 接続ケーブルを抜き差しするときは、コネクターをまっすぐ持ってください。コネクターをねじ曲げたり、HMD OUT端子に強く押し込んだりしないでください。

目次

⚠警告 安全のために……2
健康に関するご注意……6
使用上のご注意……7
主な特長……10
付属品……10
各部の名前……12
ヘッドマウントユニットを調整する……14
画面位置を確認する……17
本機の設定を変更する……19
故障かな？と思ったら……27
保証書とアフターサービス……33
主な仕様……34
ライセンスと商標について……35

主な特長

本機は、ブルーレイディスク™プレーヤー / レコーダーやゲーム機などをHDMIケーブルで接続し、3D映像を視聴できるヘッドマウント型ディスプレイです。

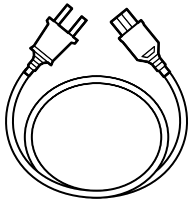
本機には、次のような特長があります。

- 水平視野角45度の広視野角設計により、映画館の大スクリーンのような迫力のある映像をお楽しみいただけます。
- ヘッドマウントユニットには、ソニー製のHD有機ELパネルを搭載。ハイコントラストで高精細な映像をご覧いただけます。
- 3D対応の映像機器を接続すると、臨場感あふれる3Dコンテンツを観賞できます。左右の目にそれぞれ専用の有機ELパネルで映像を投影するため、1つの画面で左右用の映像を表示する方式で起こりがちな、映像が二重に見える「クロストーク」現象は発生しません。
- ヘッドマウントユニットに内蔵するヘッドホンとバーチャルホンテクノロジー（VPT：Virtualphones Technology）により、立体感、奥行き感のあるマルチチャンネルバーチャルサラウンドをお楽しみいただけます。

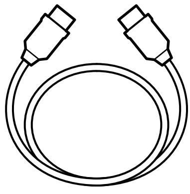
付属品

ご購入後は、以下の付属品が揃っているか確認してください。万一、不足している場合は、お買い上げ店または修理相談窓口（裏表紙）にご連絡ください。

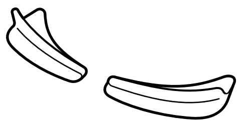
- 電源コード（1）



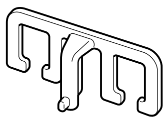
- HDMIケーブル（1）



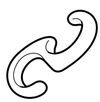
- ライトシールド（左・右）（1）



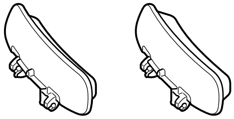
- ヘッドバンド調整クリップ（1）



- ケーブルホルダー（1）

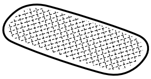


- ヘッドパッド(2)



お買い上げ時は、ヘッドパッドAがヘッドマウントユニットに装着されています。

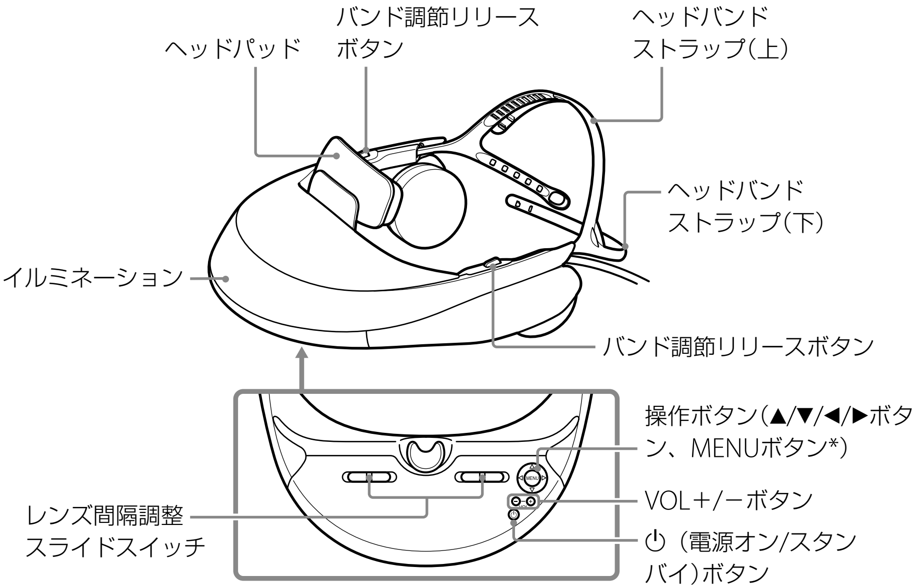
- ヘッドパッドカバー（1）



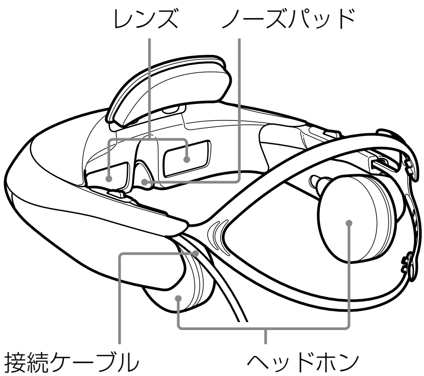
- リファレンスガイド(本書)(1)
- スタートガイド(1)
- 保証書(1)
- ソニーご相談窓口のご案内(1)

各部の名前

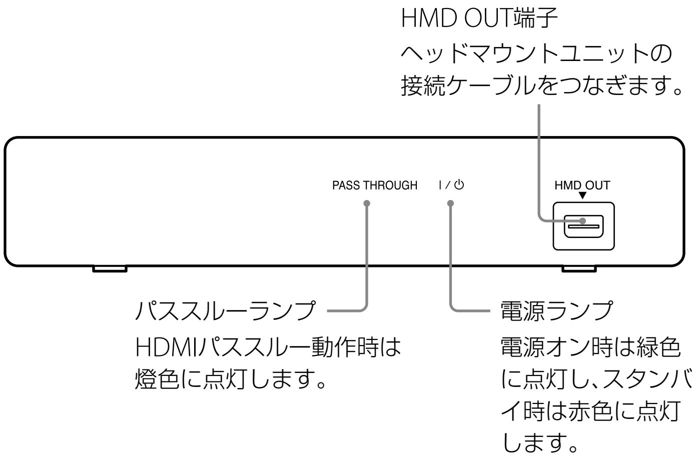
ヘッドマウントユニット



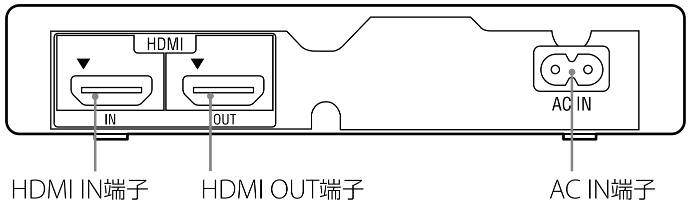
* MENUボタンを押すと、セットアップメニューを表示します。また、選択した設定項目を確定する決定ボタンとしても機能します。



プロセッサーユニット（前面）



プロセッサーユニット（後面）

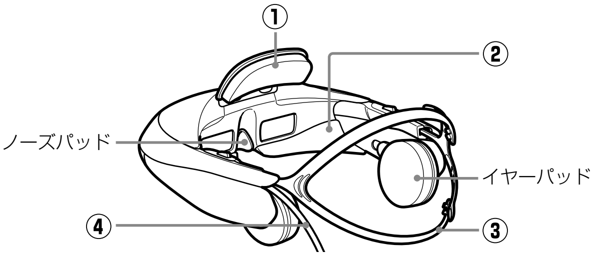


ご注意

- HDMI OUT端子からパススルー出力するには、HDMIパススルー機能を有効にし（25ページ）、本機の電源を切ってスタンバイ状態にしてください。

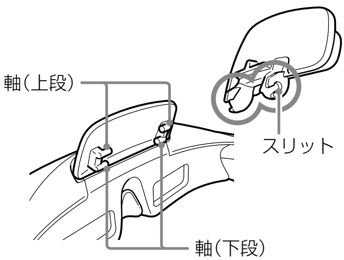
ヘッドマウントユニットを調整する

ヘッドマウントユニットは、お使いのお客様に応じてさまざまな方法で調整できるようになっています。快適な装着感を得られるように、装着前には必ずヘッドマウントユニットの調整を行ってください。

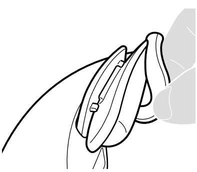


①ヘッドパッドの調整

ヘッドパッドは、厚みの異なるタイプが付属しています。ピントが合わないときや、鼻に当たるとき、眼鏡との距離が合わないときなど、装着具合に応じて選択してください。



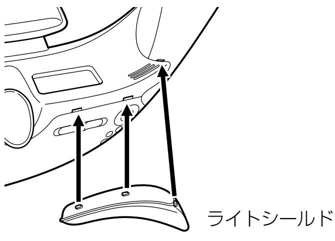
斜め上方に引っ張ってヘッドパッドを取り外し、お好みのサイズのヘッドパッドを取り付けます。取り付ける際は、好みの高さに合うように、上段、下段のいずれかの軸に、ヘッドパッドのスリットを合わせるようにして、パチッと音がするまではめ込みます。
お好みでヘッドパッドカバーを装着してください。



ヘッドパッドに付属のヘッドパッドカバーを装着します。

②ライトシールド

光が反射して画面が見にくいなど、外光が気になる場合に装着してください。



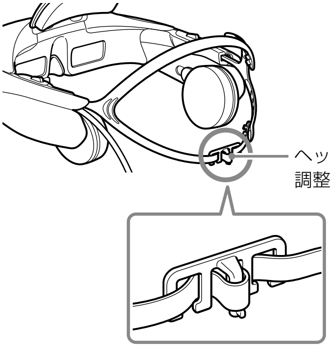
ライトシールドは、左用に「L」、右用に「R」と刻印されています。左右を確認し、レンズ部下部の3か所の穴にライトシールドの突起を挿入して装着します。

ご注意

- ご使用の眼鏡によっては、ライトシールドが装着できないことがあります。
- ライトシールドを装着しても外光が気になるときは、部屋の照明を落としたり、外光が入りにくい場所に移動してください。

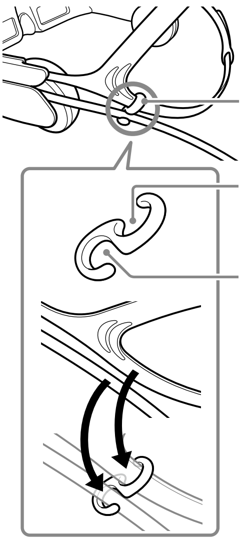
③ヘッドバンドストラップの微調整

下側のヘッドバンドストラップをさらに短くしたいときは、付属のヘッドバンド調整クリップを使って長さを調整してください。



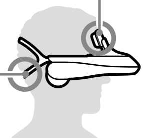
④ケーブルホルダーの装着

ヘッドマウントユニットの接続ケーブルが邪魔にならないように、付属のケーブルホルダーを使ってヘッドバンドストラップ（下）と接続ケーブルを固定することができます。



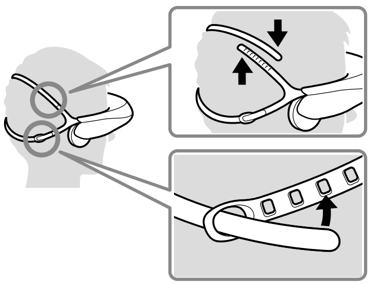
快適に装着するためのポイント

ヘッドマウントユニットを額と首の後ろで支える



ヘッドマウントユニットは、ヘッドパッドとヘッドバンドストラップ（下）で支えるようにして装着し、まっすぐ固定してください。ノーズパッドが鼻に強く当たる場合には、ヘッドバンドストラップ（下）の位置を下げる、ヘッドパッドを交換するなどして装着し直してください（14ページ）。

しっかりとフィットさせる



上下どちらかのヘッドバンドストラップがゆるい、またはきつい場合には、ヘッドバンドストラップの長さをそれぞれ調節してください。

消耗品の交換について

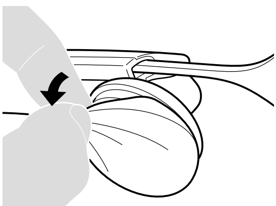
下記の消耗品は、交換部品として購入することができます(33ページ)。

- イヤーパッド
- イヤークッション
- ノーズパッド
- ヘッドパッドA（薄め）、B（厚め）
- ヘッドパッドカバー
- ヘッドバンド調整クリップ
- ライトシールド(左・右)
- ケーブルホルダー

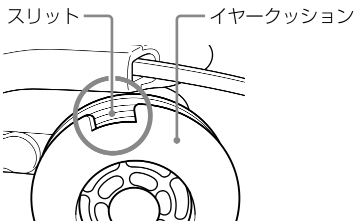
これら消耗品が破損したり磨耗したときは、交換してください。

イヤーパッド、イヤークッション、ノーズパッドは以下の要領で交換してください。

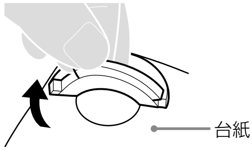
イヤーパッドの外し方とイヤークッションの交換



ヘッドホンからイヤーパッドを端のほうから引っ張って外します。強く引っ張ると、破損するおそれがありますので、ご注意ください。

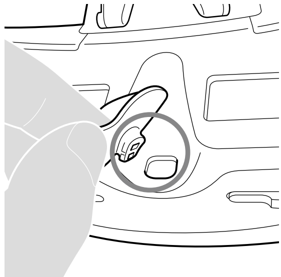


イヤークッションを取り外します。



新しいイヤークッションを台紙からはがし、スリットとイヤークッションの開口部が合うように貼り付けます。イヤークッションの交換が終わったら、イヤーパッドを装着してください。

ノーズパッドの交換

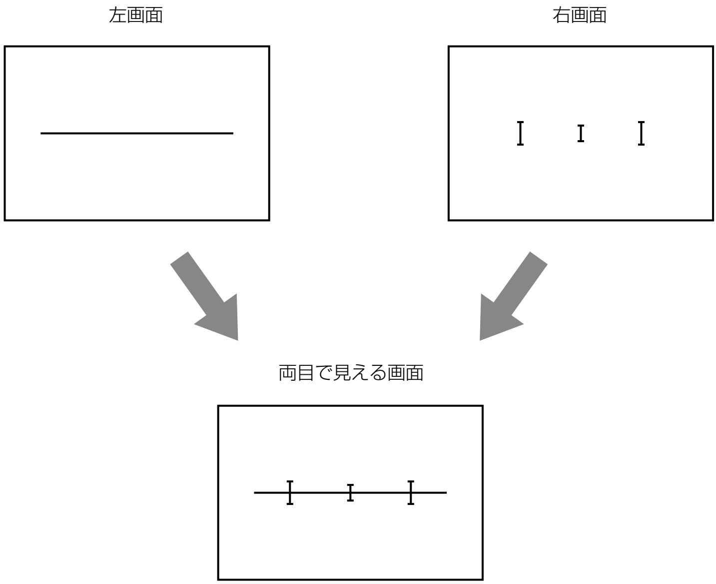


ノーズパッドは、引っ張ると取り外せます。取り付ける際は、ノーズパッドの凸部を装着部の穴に押し込むようにして取り付けてください。

画面位置を確認する

本機の電源を入れると、レンズ間隔調整画面に続いて、正常表示チェック画面が表示されます。ここでは、本機のディスプレイ部の画面の仕組みと、画面位置の確認方法について説明します。

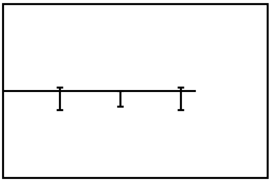
本機のディスプレイ部は、左右それぞれの小型画面で構成されています。これら２つの画面に映る映像が重なって、１つの映像として認識されます。
本機をお使いになるときは、必ず正常表示チェック画面をご覧になり、画面位置の調整が正常な状態か確認してください。

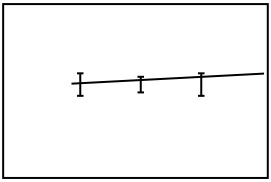


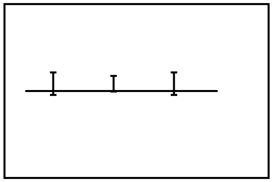
正常な状態

レンズ間隔調整スライドスイッチでレンズ間隔を調整して、3つの「I」マークすべてが横線と重なっていれば、正常です。

「I」マークと横線は、画面の中央で重なっていなくても問題ありません。

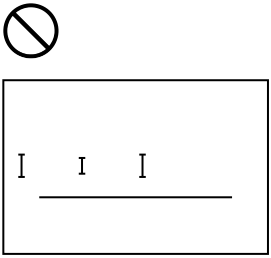




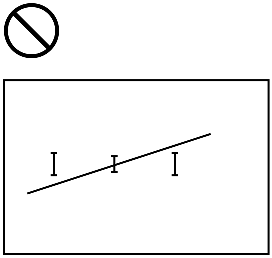


異常な状態

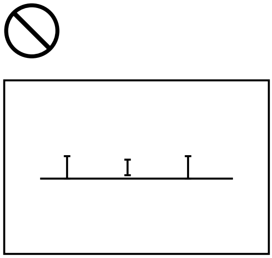
「I」マークがひとつでも横線と重なって見えない場合は、ただちに使用を中止してください。本機が変形または破損しているおそれがあります。お買い上げ店または修理相談窓口（裏表紙）にご連絡ください。



「I」マークと横線がまったく重ならない。



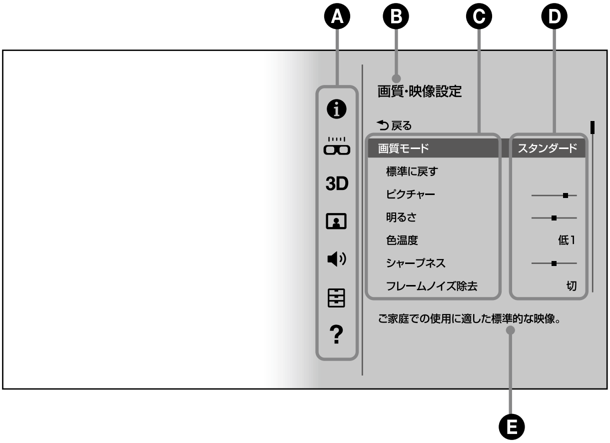
横線が極端に斜めに傾いている。



中央の「I」マークが横線と重ならない。

本機の設定を変更する

映像の画質やサウンド出力の方式、3Dコンテンツの視聴方式など、本機のさまざまな設定は、セットアップメニューを呼び出していつでも変更・調整することができます。セットアップメニューは、ヘッドマウントユニットのMENUボタンを押して呼び出します。



セットアップメニューの基本操作

1 ヘッドマウントユニットのMENUボタンを押す。

2 ▲/▼ボタンで設定カテゴリーアイコンを選択し、MENUボタンを押す。

3 ▲/▼ボタンで設定メニューを選択し、MENUボタンを押す。

4 ▲/▼/◀/▶ボタンで設定を変更・調整し、MENUボタンを押して確定する。

Ⓐ 設定カテゴリーアイコン
Ⓑ カテゴリー名
Ⓒ 設定メニュー
Ⓓ 各設定メニューの現在の設定
Ⓔ 選択中の設定メニューの機能概要

ご注意

- セットアップメニューは、無操作時間が90秒を経過すると自動的に終了します。

ヒント

- ひとつ前のメニューに戻るには、◀ボタンを押します。
- セットアップメニューを終了するには、設定カテゴリーアイコン選択メニューで◀ボタンを押します。

メニュー一覧

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

インフォメーション

プロセッサーユニットに接続している機器からの現在の入力信号(映像と音声)の情報が表示されます。入力信号が非対応の場合は「非対応信号」、信号が入力されていない場合は「無信号」と表示されます。

レンズ間隔調整

戻る	1つ前のメニューに戻ります。
レンズ間隔調整	映像を適切に表示するために、瞳孔間距離(眼幅)に合わせてヘッドマウントユニットのレンズ間隔の調整をします。レンズ間隔調整は、ヘッドマウントユニットのレンズ間隔調整スライドスイッチで行います。詳しくは、「スタートガイド」をご覧ください。 **ご注意** • レンズ間隔調整を正しく行わないと、適切な視聴ができません。本機を使用する際は、事前に必ずレンズ間隔調整を行ってください。 • 調整中は、音声は消音状態になります。 • 調整中は、音量調整はできません。

3D 3D設定

戻る	1つ前のメニューに戻ります。
標準に戻す	[はい]を選択すると、[3D設定]のすべての設定項目をお買い上げ時の設定にリセットします。

3D表示	3Dコンテンツに対して、手動で表示方式を設定します。選択できる設定は、入力信号に3D方式の識別信号が含まれているかいないかで、以下のように異なります。 **3D方式の識別信号がない3Dコンテンツの場合** [上下分割方式]：同じような映像が上下に並んで表示される3D映像方式(トップ・アンド・ボトム方式)の3Dコンテンツを視聴するときに選択します。 [左右分割方式]：同じような映像が左右に並んで表示される3D映像方式(サイド・バイ・サイド方式)の3Dコンテンツを視聴するときに選択します。 [切]：2Dで表示します。 **3D方式の識別信号が含まれている3Dコンテンツの場合** [入]：3Dで表示します。 [切]：2Dで表示します。 **ご注意** • 選択した設定で3Dコンテンツが適切に表示されないときは、[上下分割方式]の場合は[左右分割方式]に、[左右分割方式]の場合は[上下分割方式]に変更してみてください。 • [上下分割方式]、[左右分割方式]に設定した場合、3Dコンテンツの視聴が終了したら、設定を[切]に変更してください。
自動3D表示	[入]：3D識別信号を検出したときに自動的に3Dで表示します。3D識別信号の検出が途切れたときは、自動的に2D表示に切り換わります。 [切]：[自動3D表示]をオフにします。 **ご注意** • [入]に設定していても3D表示にならない場合には、[3D表示]の設定を変更してください。
3D信号入力通知	[入]：3D識別信号を検出したときにメッセージを表示します。 [切]：[3D信号入力通知]をオフにします。

画質・映像設定

戻る	1つ前のメニューに戻ります。
画質モード	[ダイナミック]：コンサートやスポーツなどテレビ番組に適したメリハリのある鮮やかな映像になります。 [スタンダード]：あらゆる映像ソースで、自然さを重視した標準的な映像になります。 [シネマ]：映画表現に適した映像になります。 [カスタム]：フラットな状態から、お好みの画質に調整して保存します。
標準に戻す	[はい]を選択すると、[画質モード]で選択しているモードの調整値（[ワイド切換]、[自動表示領域切換]、[表示領域]以外の[画質・映像設定]の設定項目）を、お買い上げ時の設定にリセットします。
ピクチャー	映像のコントラストを調整します。
明るさ	映像の明るさを調整します。
色温度	色温度を調整します。 [高]：青みがかった冷たい印象の色調になります。 [中]：[高]と[低1/低2]の中間の色調になります。 [低1/低2]：赤みがかった暖かい印象の色調になります。[低2]は[低1]よりさらに赤みがかった色調になります。
シャープネス	映像の輪郭を強調してはっきりさせたり、ぼかすことができます。
フレームノイズ除去 映像入力が1080/24pフレームパッキング方式のときは、設定できません。	映像にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減します。 [強/中/弱]：[強][中][弱]から効果の度合いを設定します。 [切]：[フレームノイズ除去]をオフにします。
ブロックノイズ除去 映像入力が1080/24pフレームパッキング方式のときは、設定できません。	映像にモザイクのように現れるブロックノイズを低減します。 [強/中/弱]：[強][中][弱]から効果の度合いを設定します。 [切]：[ブロックノイズ除去]をオフにします。
モスキートノイズ除去 映像入力が1080/24pフレームパッキング方式のときは、設定できません。	映像の輪郭部に現れる細かいノイズ（モスキートノイズ）を低減します。 [強/中/弱]：[強][中][弱]から効果の度合いを設定します。 [切]：[モスキートノイズ除去]をオフにします。

シネマ変換 映像入力が1080/24pフレームパッキング方式のときは、設定できません。	[自動]：ビデオ素材（テレビドラマやアニメーション）とフィルム素材（映画フィルム）の違いを本機が検出し、自動的に素材に合わせた変換方法に切り換えます。 [ビデオ]：ビデオ素材、フィルム素材にかかわらず、常にビデオ素材用の方式で映像を表示します。
クリアブラック	映像の黒の表現を調整します。全体の陰影を損なうことなく、艶やかな黒を再現します。
コントラストリマスター	黒レベル、白レベルを自動的に最適な状態に補正し、黒浮きや白沈みのない、メリハリのある映像にします。 [強/中/弱]：[強][中][弱]から効果の度合いを設定します。 [切]：[コントラストリマスター]をオフにします。
ワイド切換 3D表示でコンテンツを視聴しているときは、選択できません。	[ノーマル]：4:3の縦横比のオリジナル映像をそのまま表示します。 [フル]：4:3の縦横比の映像を表示する場合、映像を横長に拡大してフルスクリーンで表示します。16:9の縦横比の映像を表示する場合、オリジナル映像をそのままフルスクリーンで表示します。 [ズーム]：オリジナル映像の縦横比のまま、全体を拡大して表示します。 **ご注意** • HD入力（1080i、720p、1080p）のときは、[ノーマル]は選択できません。
自動表示領域切換 3D表示でコンテンツを視聴しているときは、選択できません。	[入]：自動的に映像を最適な表示領域に調整します。 [切]：[自動表示領域切換]をオフにします。
表示領域 [自動表示領域切換]が[切]の場合のみ設定できます。	[＋1]：入力映像のオリジナルの映像領域が表示されます。 [標準]：推奨の表示領域で表示します。 [－1]：入力映像を拡大して、画面の周辺部分が見えないようにします。画面の周辺が欠けたり周辺のノイズが気になる場合に設定します。

音質・音声設定

戻る	1つ前のメニューに戻ります。
標準に戻す	[はい]を選択すると、[音質・音声設定]のすべての設定項目をお買い上げ時の設定にリセットします。
サラウンド	[スタンダード]：適度な残響を伴った標準的なサラウンド設定になります。様々なコンテンツを空間的に広がりのあるサラウンドで楽しむことができます。 [シネマ]：包まれ感や、各チャンネルの自然なつながり、自然な音質（特に台詞）を重視した設定になります。音響に優れた映画館のような適度な広がりのあるサラウンド音場を楽しむことができます。映画に適しています。 [ゲーム]：くっきりとした音像定位や、明確な方向感の再現を重視した設定になります。マルチチャンネルサラウンドのゲームなどで臨場感あふれるプレイを楽しむことができます。ゲーム（特にマルチチャンネル音源）に適しています。 [ミュージック]：コンテンツの音の質感を生かして再生する設定になります。モニタースタジオで聴くような、原音に忠実な再生音を楽しめます。音楽やスポーツ、ドキュメンタリーなどに適しています。 [切]：通常音声での再生になります。 **ご注意** • 入力された音声信号によっては、選択したサラウンド設定により再生音量に違いが生じる場合があります。
高音	高音域を調整します。
低音	低音域を調整します。

本体設定

戻る	1つ前のメニューに戻ります。
パスワード設定 パスワード入力後は、設定表示名が[パスワード解除]になります。	パスワードを設定して本機の使用を制限します。パスワードを設定すると、本機の電源を入れたときに、パスワードの入力が必要になります。 パスワードを解除するときは、[パスワード解除]を選択し、パスワードを入力して解除します。 **ご注意** • 以下の状態のときは、自動的に本機の電源が切れるようになっています。電源を入れてパスワードを入力し直すか、パスワードを解除してください。 – パスワードの入力ミスで表示されるセットアップメニューをMENUボタン、または◀ボタンで終了したとき – パスワード入力画面で無操作時間が90秒を経過したとき
HDMIパススルー	[入]：本機が待機状態のときに、機器のコンテンツをテレビなどで視聴できます。詳しくは、「スタートガイド」をご覧ください。 [<u>切</u>]：HDMIパススルー機能をオフにします。テレビなどをプロセッサーユニットに接続していないときは、消費電力を抑えるため、[切]を選択してください。
HDMI機器制御	[<u>する</u>]：ヘッドマウントユニットの▲/▼/◀/▶ボタンを使って、プロセッサーユニットと接続している機器を操作できます。 ▲ボタン：再生します。 ▼ボタン：一時停止します。 ◀ボタン：前のチャプターにスキップします。押し続けると、早戻しします。 ▶ボタン：次のチャプターにスキップします。押し続けると、早送りします。 [しない]：HDMI機器制御機能をオフにします。接続した機器のリモコンで操作してください。 **ご注意** • [する]に設定しても操作できない場合は、接続した機器は本機のHDMI機器制御機能に対応していません。接続した機器で操作してください。

無装着電源オフ	[入]：ヘッドマウントユニットを頭からはずして30分後に本機の電源が自動的に切れる設定になります。 [切]：[無装着電源オフ]をオフにします。 **ヒント** • 設定の[入][切]にかかわらず、ヘッドマウントユニットの画面は、頭からはずして10秒後に自動的に消えます。
イルミネーション	[入]：ヘッドマウントユニットのイルミネーションが点灯します。 [切]：[イルミネーション]をオフにします。
言語設定	画面に表示されるメニューなどの表示言語を設定します。 **ご注意** • 設定中は、音声は消音状態になります。 • 設定中は、音量調整はできません。
連続視聴警告	[入]：電源を入れてから3時間が経過したときに自動的に電源を切るかどうかの選択画面が表示されます。この画面で[はい]を選択すると、自動的に電源が切れます。[いいえ]を選択すると、電源を入れてから6時間が経過したときに強制的に電源が切れます。 [切]：[連続視聴警告]をオフにします。 **ご注意** • 3時間経過時の警告が表示された状態で90秒間放置すると、自動的に電源が切れます。 • 強制終了30分前と5分前に、警告画面が表示されます。
起動時視聴警告表示	[入]：本機の電源を入れたときに視聴警告が表示されます。 [切]：[起動時視聴警告表示]をオフにします。
お買い上げ時の設定	[はい]を選択すると、すべての設定項目をお買い上げ時の設定にリセットします。 **ご注意** • [本体設定]の[パスワード設定]で設定したパスワードも解除されます。

? HDMI機器制御の説明

[HDMI機器制御]で動作するヘッドマウントユニットの各ボタンの説明（25ページ）が表示されます。

故障かな？と思ったら

本機の使用中に以下のような症状が起きたときは、修理に出す前に「原因/処置」の欄を参考に点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口(裏表紙)へお問い合わせください。

電源

症状	原因/処置
電源が入らない。	→ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。 → ヘッドマウントユニットの接続ケーブルがHMD OUT端子にしっかり差し込まれているか確認してください。 → 起動するまでには数秒かかります。
電源が切れない。	→ ⏻（電源オン/スタンバイ）ボタンを１秒以上押してください。

映像

症状	原因/処置
映像が出ない、乱れる。	→ 「スタートガイド」をご覧になり、電源コード、HDMIケーブル、接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 → プロセッサーユニットのHDMI IN端子に接続した機器の電源が入っているか確認してください。 → 入力信号が、本機で対応している信号か確認してください。対応する信号については、「主な仕様」(34ページ)の「HDMI入出力対応信号」をご覧ください。 → 本機にPlayStation®3 (PS3®)を接続してご使用のとき、PS3®の映像・音声出力設定が、本機およびお使いのテレビ、接続しているケーブルと合っていないと、映像・音声が出ないことがあります。映像・音声が出ないときは、一度PS3®の電源を切ってください。そのあと、PS3®の電源ボタンを5秒以上(「ピッ」という音がもう一度するまで)押したままにして電源を入れ直してください。PS3®の映像・音声出力が標準的な設定に変更されます。 → HDMIケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。HDMIケーブルがしっかり差し込まれているか確認してください。それでも改善しない場合は、HDMIケーブルが断線している可能性があります。断線しているときは、新しいケーブルに交換してください。 → [3D設定]の[3D表示]を[上下分割方式]または[左右分割方式]に設定したときは、3D映像の視聴終了後に、設定を[切]に変更してください(21ページ)。 → AV アンプを介して機器と本機を接続しているときは、本機に直接つないでみてください。詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。 → HDMIセレクターをお使いの場合は、セレクター側の入力切り換えが正しく行われているか確認してください。 → 付属のHDMIケーブルまたは、市販のハイスピード対応と明記されているHDMIケーブルをお使いください。 → 接続機器側のDeep Color出力の設定を無効にしてお使いください。Deep Color出力の設定ができない機器で1080/60pの映像を出力している場合は、解像度を1080iに切り換えてください。

症状	原因/処置
画面が暗い、ぼやける。	➔ 「スタートガイド」をご覧になり、電源コード、HDMIケーブル、接続ケーブルが正しく接続されているか、ヘッドマウントユニットを正しく装着しているか確認してください。 ➔ レンズ間隔調整が適切に行われていない可能性があります(18ページ)。セットアップメニューの[レンズ間隔調整]で調整してください(20ページ)。 ➔ ヘッドマウントユニット内側のレンズ部の表面が汚れている場合は、乾いた柔らかい布でクリーニングしてください。
画面が突然消える。	➔ 使用開始から3時間経過すると確認画面が表示され、そのまま放置すると90秒で電源が切れます。また、使用開始から6時間が経過すると、目の健康を保つため、自動的に電源が切れます。詳しくは、26ページの[連続視聴警告]をご覧ください。 ➔ ヘッドマウントユニットを正しく装着してください。装着センサーにより、頭からはずすと10秒後に画面の表示は自動的に消えます。詳しくは、26ページの[無装着電源オフ]をご覧ください。
時間が経つと画像が暗くなる。	➔ 静止画またはほぼ静止した映像を表示したままにすると、画像や映像の表示が徐々に暗くなることがありますが、故障ではありません。本機や接続された機器を操作すれば、元の状態に戻ります。
画面に点灯しない点や、常に点灯している点がある。	➔ 有機ELパネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点または常に点灯する赤、青、緑の点が現れる場合があります。故障ではありません。
3D映像に見えない。	➔ 同じような映像が左右に並んで表示される、または上下に並んで表示されるときは3Dの表示方式の設定が正しくない可能性があります。[3D設定]の[3D表示]の設定を切り換えてみてください(21ページ)。 ➔ 3D映像の見えかたには個人差があります。 ➔ [3D設定]のメニューは表示されるのに3D映像で表示されないときは、接続している3Dコンテンツの再生機器の電源を切り、再度機器の電源を入れ直してみてください。 ➔ 本機には、2D映像を3D映像に変換して表示する、“疑似3D表示機能”はありません。 ➔ アナグリフ方式の映像を3Dでご覧になるには、赤、青などの色が付いた専用の眼鏡が必要です。 ➔ 本機に接続した再生機器の設定もご確認ください。

症状	原因/処置
映像が自動的に3D表示に切り変わらない。	➔ [3D設定]の[自動3D表示]の設定が[入]になっていることを確認してください(21ページ)。 ➔ 3D方式の識別信号が含まれないタイプの3Dコンテンツでは、自動的に3D映像として表示されません。[3D設定]の[3D表示]の設定を[上下分割方式]または[左右分割方式]に切り換えてみてください(21ページ)。

音声

症状	原因/処置
音が出ない。 雑音が聞こえる。 音量が上がらない。	➔ VOL+/–ボタンで音量を調整してください。 ➔「スタートガイド」をご覧になり、電源コード、HDMIケーブル、接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ➔ 入力信号が本機に対応しているか確認してください。対応する信号については、「主な仕様」(34ページ)の「HDMI入出力対応信号」をご覧ください。入力信号が本機で対応していない場合は、接続機器の音声出力の設定を確認してください。 ➔ 本機にPlayStation®3 (PS3®)を接続してご使用のとき、PS3®の映像・音声出力設定が、本機およびお使いのテレビ、接続しているケーブルと合っていないと、映像・音声が出ないことがあります。映像・音声が出ないときは、一度PS3®の電源を切ってください。そのあと、PS3®の電源ボタンを5秒以上(「ピッ」という音がもう一度するまで)押したままにして電源を入れ直してください。PS3®の映像・音声出力が標準的な設定に変更されます。 ➔ AV アンプを介して機器と本機を接続しているときは、本機に直接つないでみてください。詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。 ➔ HDMI機器制御機能に対応するホームシアターシステムやAVアンプなどの機器を接続しているときは、以下の設定を確認してください。 – [本体設定]の[HDMI機器制御]の設定が[する]になっていることを確認してください(25ページ)。 – AVアンプなどの接続機器側でHDMI機器制御の設定が有効になっているか確認してください。詳しくはお使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

症状	原因/処置
サラウンドに聞こえない。	➔ [音質・音声設定]の[サラウンド]の設定が[切]になっていないか確認してください(24ページ)。 ➔ 聞こえかたには個人差があります。

HDMI機器制御

症状	原因/処置
本機のボタンで接続した機器を操作できない。	➔ 接続した機器がHDMI機器制御機能に対応しているか確認してください。 ➔ 接続した機器のHDMI機器制御機能が正しく設定されているか確認してください。詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。 ➔ HDMI機器制御機能に対応していないAVアンプを接続すると、HDMI機器制御機能は正しく働きません。 ➔ 電源を入れた直後や、[本体設定]の[HDMI機器制御]を[する]に設定した直後には、本機のボタンで接続機器の操作ができないことがあります。 ➔ [本体設定]の[HDMI機器制御]の設定が[する]になっていることを確認してください(25ページ)。

その他

症状	原因/処置
電源ランプが点滅(赤)を繰り返す。	➔ 3秒間隔で2回の点滅を繰り返すときは、ヘッドマウントユニットまたはプロセッサーユニットが故障している可能性があります。ソニーの修理相談窓口(裏表紙)へご相談ください。 ➔ 3秒間隔で3回の点滅を繰り返すときは、プロセッサーユニットで温度異常が発生しています。そのままの状態でしばらく放置してください。温度が下がると点滅が停止します。プロセッサーユニットの通風孔をふさがず、風通しをよくしてください。 ➔ 3秒間隔で4回の点滅を60秒間繰り返すときは、ヘッドマウントユニットで温度異常が発生しています。そのままの状態でしばらく放置してください。温度が下がると点滅が停止します。 ➔ 3秒間隔で5回の点滅を60秒間繰り返すときは、ヘッドマウントユニットとプロセッサーユニットで同時に温度異常が発生しています。そのままの状態でしばらく放置してください。温度が下がると点滅が停止します。
本機の電源を切っても、HDMI OUT端子に接続したテレビに再生機器の映像や音声が出ない。	➔ HDMIケーブルがしっかり差し込まれているか確認してください。 ➔ [本体設定]の[HDMIパススルー]の設定を[入]にしてください(25ページ)。 ➔ テレビの入力切換を本機に切り換えてください。 ➔ 再生機器のHDMI出力設定を確認してください。
HDMIパススルー使用時に、テレビのHDMI機器制御機能で再生機器が操作できない。	➔ テレビの取扱説明書をご覧になり、テレビのHDMI機器制御の設定で、制御機器として本機を指定してください。
ボタンを押しても、操作できない。	➔ ヘッドマウントユニットを装着しないと、ボタンは機能しません。
セットアップメニュー画面の右上に[DEMO]と表示される。	➔ ソニーの使い方相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうか点検してください。

それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口へ

ソニーの相談窓口（裏表紙）へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- **型名**：HMZ-T1
- 本機に接続している機器のメーカーと型名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

保証期間中の修理について

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理とさせていただきます。

部品の保有期間について

当社ではヘッドマウントディスプレイの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

持ち込み修理サービスについて

本製品の修理をご希望の際は、プロセッサーユニット部など、すべての同梱物をヘッドマウントユニット本体と一緒に最寄りのソニーサービスステーションにお持ち込みください。

消耗品の交換について

通常使用やお手入れの過程で消耗する以下の部品に対しては、別売りの交換部品をご用意しております。交換部品のご購入については、お買い上げ店またはソニーの修理相談窓口（裏表紙）までお問い合わせください。

- イヤーパッド（EP-G1）
- イヤークッション
- ノーズパッド
- ヘッドパッドA（薄め）、B（厚め）
- ヘッドパッドカバー
- ヘッドバンド調整クリップ
- ライトシールド（左・右）
- ケーブルホルダー

主な仕様

電源

AC 100 V、50/60 Hz

消費電力

15 W（動作時）
0.35 W（待機時）
1.6 W（待機状態および HDMI パススルー機能有効時）

許容動作温度

5℃～ 35℃

許容動作湿度

25% ～ 80%

外形寸法（幅×高さ×奥行き、最大突起部含む）

ヘッドマウントユニット部：
　約210 mm×126 mm×257 mm
プロセッサーユニット部：
　約 180 mm × 36 mm × 168 mm

質量

ヘッドマウントユニット部：
　約 420 g（接続ケーブル含まず）
プロセッサーユニット部：
　約 600 g（電源コード等含まず）

瞳孔間距離（眼幅）適合範囲

55 mm ～ 72 mm

ヘッドホン

周波数帯域：12 Hz ～ 20,000 Hz

入出力端子

HMD OUT：
　15 ピン専用コネクター
HDMI IN、HDMI OUT*：
　19 ピン標準コネクター
HDMI 入出力対応信号：
　映像入力（2D）：
　　480/60p、576/50p、720/24p、720/50p、720/60p、1080/50i、1080/60i、1080/24p、1080/50p、1080/60p
　映像入力（3D；フレームパッキング、サイド・バイ・サイド、トップ・アンド・ボトム）：
　　720/50p、720/60p、1080/50i、1080/60i、1080/24p
　音声入力：
　　最大 5.1 チャンネルリニア PCM (32/44.1/48 kHz、16/20/24 ビット)

* HDMI OUT端子からは、プロセッサーユニットに入力された信号がそのまま出力されます（HDMIパススルー機能有効時）。ただし、次のような入力信号にはパススルー出力は対応しません。

– Deep Color信号
– 4Kの解像度を持つ映像信号(3840（水平）× 2160（垂直）ピクセル以上の高解像度信号)

付属品

電源コード（1）*
HDMI ケーブル（1）
ライトシールド（左・右）（1）
ヘッドバンド調整クリップ（1）
ケーブルホルダー（1）
ヘッドパッド（1）
ヘッドパッドカバー（1）
リファレンスガイド（本書）（1）
スタートガイド（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

* 付属の電源コードは本機専用です。他の電気機器では使用できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ライセンスと商標について

商標について

- 本機は、High-Definition Multimedia Interface (HDMI®) 技術を搭載しています。
  HDMI、HDMI ロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。

HDMI

- 「PlayStation」、「PS3」は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- VPT、Virtualphones Technologyはソニー株式会社の登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは省略している場合があります。

本機で使用しているソフトウェアについて

本機にはFreeType Project Licenseの適用を受けるソフトウェアが含まれています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥ 0466-31-2531

※取扱説明書等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「204」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、
VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型
インキを使用しています。

* I - 4 2 9 7 8 2 4 0 1 5 *

4-297-824-**01**(1)